



2022 年も気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第2号



令和4年5月18日発行

庄内総合支庁

酒田農業技術普及課

TEL(22)-6521 Fax(22)-6522

活着は良好です！ 「つや姫」も「雪若丸」もこまめな水管理で 初期茎数をしっかり確保しましょう！

春先から天候が概ね良好であったため、管内でも田植えは終盤となっています。また、活着も良好のようです。「つや姫」「雪若丸」とともに、有効茎確保期は **6月20日頃**までです。

収量・品質の安定化には、こまめな水管理で早めに有効茎を確保することが重要です。生育に合わせた水管理で必要な茎数をしっかり確保しましょう。

1 こまめな水管理が分けつ促進の基本

○分けつの発生に適する地水温は、25℃程度とされています。活着後は、分けつの発生を促進するために、地水温が上がりやすい

よう浅水管理（水深2～3cm）を行うとともに、日較差を確保し生育促進を図るため、水管理は昼間止水、夜間灌漑とします。なお、強風や低温が続く時は、水深をやや深め（水深5cm程度）にして稲体を保護しましょう。6月10日の目標とする茎数は表1のとおりです。

表1 6月10日の生育指標

品種名	草丈	茎数	葉色 (SPAD値)	葉齢
つや姫	27cm	250本/㎡ (11.8本/株)	35	6.7齢
雪若丸	26cm	280本/㎡ (13.2本/株)	41	6.8齢

茎数の()は70株植えの場合の株あたり茎数

2 分けつ発生を抑制する要因を除去

○抑制要因① 田ワキ（異常還元）

近年は春先から高温傾向であり、今年も平年より気温が高く推移しています。5月初旬に田植えが行なわれた圃場の中には、すでに田ワキが発生しているところもみられます。

田ワキとは、図1のとおり稲わらの分解に伴い、有機酸や硫化水素が発生し、稲の根の窒素吸収力と根の伸長を抑制することです。田ワキの程度ごとの対策については表2（次ページ）に整理してあります。

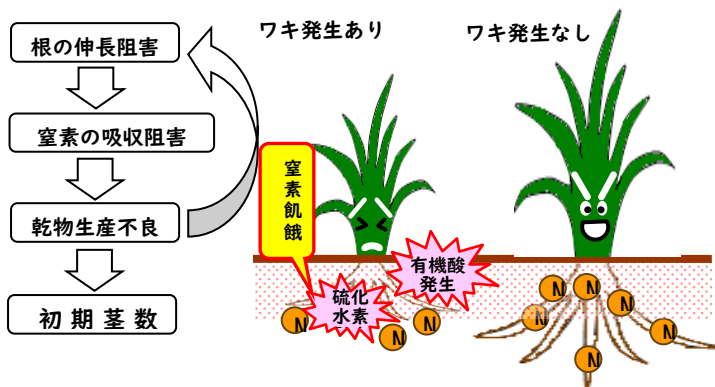


図1 田ワキ状態における分けつ抑制のイメージ



図2 田ワキの発生程度による根と分けつへの影響
左：田ワキ大、右：田ワキ小
(令和3年6月上旬撮影)

表2の生育への影響の欄を見ると分かるように、地上部に影響が見えるころには、地下部のダメージはかなり大きく(図2)、立ち直るのにも時間がかかります。気温が高く日差し強い日が続いた場合は、水田の様子を確認し、天気のおだやかな日をねらい、程度に応じた対策を講じましょう。

表2 分げつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、 地上部黄化	田干し

○抑制要因② 深水管理

初期からの深水管理は、茎数の増加を抑えます。地水温が上がりにくく日較差が小さくなると、稲の窒素吸収量が少なくなります。また、土壌からのアンモニア態窒素の発現も遅れ気味になります。目標とする茎数の確保を優先しましょう。本年は、乾土効果の発現は“やや小”とみられています。昨年に比べ、耕起時期によっては、アンモニア態窒素の発現は少ない可能性があります。こまめな水管理でしっかり初期生育を確保しましょう。

表3 年次別乾土効果

年次	R4	R3	R2	R1
乾土効果	やや小	並	小	小

水田農業研究所調べ

○抑制要因③ 頻繁な水交換、荒天時の落水 いずれも地水温の上昇を妨げます。

3 除草剤処理前は水交換を実施

○これから一発除草剤を散布する場合は、処理前に必ず水交換を行いましょう。除草剤散布後のワキを予防する効果が期待できます。

水交換や夜間落水には表層剥離や藻類等の発生を落ち着ける効果もあり、除草剤の散布・拡散ムラを防ぐ効果もあります。

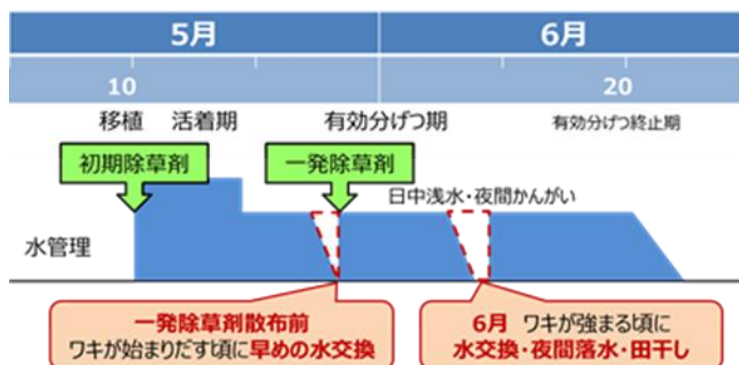


図3 ワキ対策の水管理と除草剤の散布時期のイメージ

つや姫・雪若丸現地検討会を開催します！

- 日時 令和4年6月16日(木)午後1時30分～
- 検討圃場の場所及び日程
 - 「雪若丸」(生育診断) 酒田市前川(午後1時30分～ 現地集合)
 - 「つや姫」(生育診断) 酒田市漆曾根(午後2時30分～ 現地解散)
- 検討内容 今年の「つや姫」「雪若丸」の生育は？
現地圃場の生育状況を確認！スマートつや姫の取組み紹介！
詳細や参加申込(6/10まで)は各JA、各米集荷事業者、又は酒田農業技術普及課へ問合せ下さい。



「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10～6/10

「声かけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！」